

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】平成24年9月13日(2012.9.13)

【公開番号】特開2011-118472(P2011-118472A)

【公開日】平成23年6月16日(2011.6.16)

【年通号数】公開・登録公報2011-024

【出願番号】特願2009-272782(P2009-272782)

【国際特許分類】

G 06 Q 30/06 (2012.01)

G 06 Q 50/00 (2012.01)

G 06 Q 30/08 (2012.01)

【F I】

G 06 F 17/60 3 1 0 E

G 06 F 17/60 Z E C

G 06 F 17/60 3 1 6

G 06 F 17/60 3 3 6

【手続補正書】

【提出日】平成24年7月27日(2012.7.27)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

金額の入力を受け付け、受け付けられた入力金額を取得する取得手段と、

前記入力金額を表す数字を第1表示領域に表示させる第1表示制御手段と、

予め用意された、金額が異なる複数種の貨幣に対応した貨幣画像データと、各貨幣画像データに対応する貨幣の価値情報に基づき、前記入力金額と等価の貨幣を表す一つ以上の貨幣画像データを生成する貨幣画像生成手段と、

前記貨幣画像生成手段において生成された前記一つ以上の貨幣画像データが示す貨幣画像を第2表示領域に表示させる第2表示制御手段と、

を備えることを特徴とする入力金額表示装置。

【請求項2】

請求項1に記載の入力金額表示装置であって、

ユーザによって選択された前記貨幣の単位を検出し、当該選択された貨幣の単位を設定する貨幣単位設定手段と、

単位が異なる複数種類の貨幣間の交換レートが記憶された為替レート記憶手段と、

を更に備え、

前記貨幣画像生成手段は、前記為替レート記憶手段に記憶された為替レートを参照して、前記取得された入力金額を前記設定された貨幣の単位に基づいて換算した金額と等価の貨幣を表す一つ以上の貨幣画像データを生成することを特徴とする入力金額表示装置。

【請求項3】

請求項1又は請求項2に記載の入力金額表示装置であって、

前記金額は、商品の価格を示すことを特徴とする入力金額表示装置。

【請求項4】

請求項1乃至請求項3の何れか一項に記載の入力金額表示装置であって、

前記取得手段は、ユーザによる金額を入力する操作を検出することで、金額の入力を受

け付け、受け付けられた金額を取得することを特徴とする入力金額表示装置。

【請求項 5】

コンピュータを、

金額の入力を受け付け、受け付けられた入力金額を取得する取得手段、

前記入力金額を表す数字を第1表示領域に表示させる第1表示制御手段、

予め用意された、金額が異なる複数種の貨幣に対応した貨幣画像データと、各貨幣画像データに対応する貨幣の価値情報とに基づき、前記入力金額と等価の貨幣を表す一つ以上の貨幣画像データを生成する貨幣画像生成手段と、

前記貨幣画像生成手段において生成された前記一つ以上の貨幣画像データが示す貨幣画像を第2表示領域に表示させる第2表示制御手段、

として機能させることを特徴とする入力金額表示プログラム。

【請求項 6】

金額の入力を受け付け、受け付けられた入力金額を取得する入力金額表示装置が、通信回線網を介して接続される入力金額表示用サーバ装置であって、

前記入力金額表示装置から、当該入力数値表示装置が取得した前記入力金額を示す金額情報を受信する受信手段と、

予め用意された、金額が異なる複数種の貨幣に対応した貨幣画像データと、各貨幣画像データに対応する貨幣の価値情報とに基づき、前記金額情報が示す入力金額と等価の貨幣を表す一つ以上の貨幣画像データを生成するサーバ貨幣画像生成手段と、

前記生成した貨幣画像データを前記入力金額表示装置に送信して、前記入力金額表示装置に前記貨幣画像データが示す貨幣画像を表示させる送信手段と、

を備えることを特徴とする入力金額表示用サーバ装置。

【請求項 7】

コンピュータが、金額の入力を受け付け、受け付けられた入力金額を取得するステップと、

前記コンピュータが、前記入力金額を表す数字を第1表示領域に表示させるステップと、

前記コンピュータが、予め用意された、金額が異なる複数種の貨幣に対応した貨幣画像データと、各貨幣画像データに対応する貨幣の価値情報とに基づき、前記入力金額と等価の貨幣を表す一つ以上の貨幣画像データを生成するステップと、

前記コンピュータが、生成された前記一つ以上の貨幣画像データが示す貨幣画像を第2表示領域に表示させるステップと、

を含むことを特徴とする入力金額表示方法。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0016

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0016】

請求項6に記載の入力金額表示用サーバ装置は、金額の入力を受け付け、受け付けられた入力金額を取得する入力金額表示装置が、通信回線網を介して接続される入力金額表示用サーバ装置であって、入力金額表示装置から、当該入力数値表示装置が取得した入力金額を示す金額情報を受信する受信手段と、予め用意された、金額が異なる複数種の貨幣に対応した貨幣画像データと、各貨幣画像データに対応する貨幣の価値情報とに基づき、金額情報が示す入力金額と等価の貨幣を表す一つ以上の貨幣画像データを生成するサーバ貨幣画像生成手段と、生成した貨幣画像データを入力金額表示装置に送信して、入力金額表示装置に貨幣画像データが示す貨幣画像を表示させる送信手段と、を備えることを特徴とする。